

Ladder

中1ギャップの解消のために

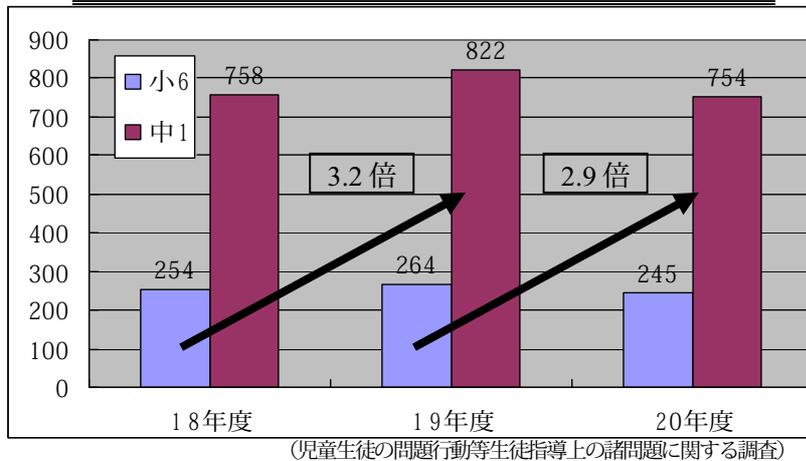
平成22年2月10日 第1号
北海道教育庁学校教育局学校安全・健康課
(生徒指導グループ)

Q いわゆる「中1ギャップ」とはどのような問題のことを言うのですか。

中1ギャップには、中学1年生でいじめや不登校が急増するという現象面のギャップと、中学に進学した子どもたちが感じる小・中学校間の学校制度や教職員の指導等のギャップという2つのとらえ方があります。

中学校という新しい環境に飛び込む子どもたちにとって、小学校と中学校の違いは、想像以上に大きく感じられるものであり、中学校において、よりよい人間関係を築く力の育成に向けた取組や、一人一人の子どもへの支援の充実を図ることが期待されています。

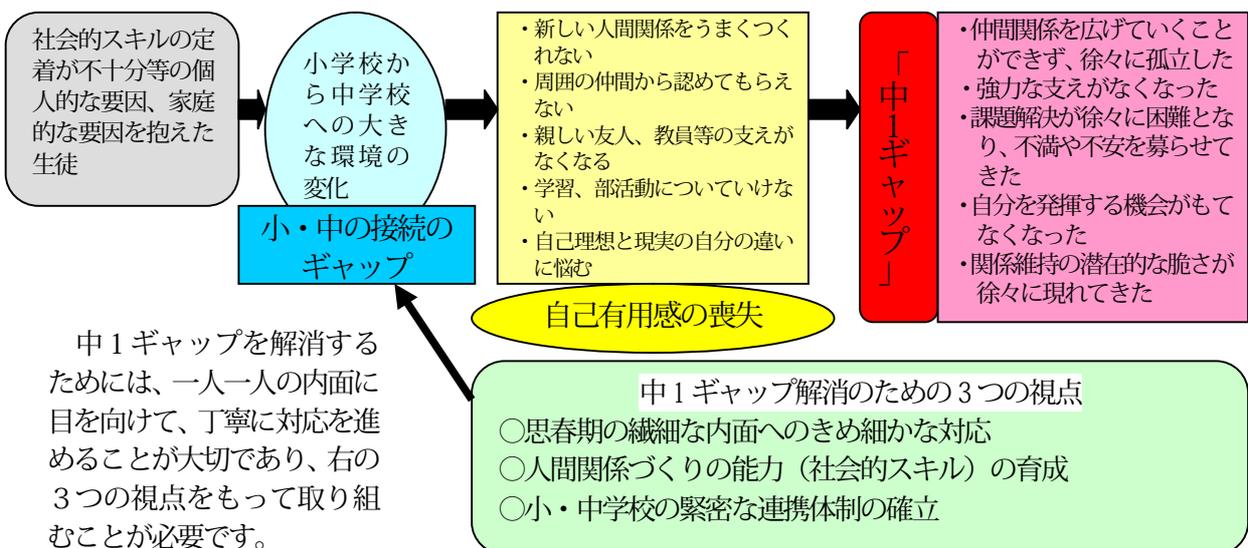
本道における中1ギャップの状況（不登校児童生徒数から）



文部科学省が毎年実施している「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」では、本道の小学校6年生が中学校1年生に進学した際、不登校児童生徒数は、約3倍に増加しています。

また、いじめの認知件数についても、2倍近くに増加するなど、「中1ギャップ」の現象が顕著となっています。

中1ギャップの発生要因と解消のための対応策（新潟県教育委員会）



中学校学習指導要領「特別活動」

新中学校学習指導要領解説「特別活動編」において、「いわゆる中1ギャップが指摘されるなど集団の適応にかかわる問題や思春期の心の問題の重要性に鑑み、よりよい人間関係を築くための社会的スキルを身に付けるための活動を効果的に取り入れる」ことが改善の具体的事項に記述されています。

「Ladder」（ラダー）は中1ギャップを解消するための学校間の接続を図る「はしご」を意味しています。